



宮司、プレス 第百九十二号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和四年十一月七日

◇宮司の柴田です。 お待たせを致しまし

た。一か月半ぶりの宮司プレス百九十二号の発行です。令和元年十一月から継続していた毎月発行も途絶え、さらに、遅れの累積も一つ増やして六か月となりました。なぜに、先月発行が叶わなかったのか。それは、今をさかのぼること二年前、自宅玄関の縁石（えんせき）に躓（つまづ）き、転倒、あるうことか、左膝の骸骨（がいこつ）骨折、いわゆる、半月板を縦横（たてよこ）に割ってしまったいました。全身麻酔（ぜんしんますい）の手術の後、二十七日間のリハビリを兼ねた入院生活を余儀なくされました。命がけで、リハビリをさせて頂き、今年の一には、正座ができるように回復しました。実は、先月の二十五日から、健康を取り戻した膝に、不要となった「ボルト」の類（たぐい）を取り除く手術、「抜鉗（ばつびょう）」で再入院となり、六日間の入院加療ということで、発行の機会を逸（いつ）してしまっただけというのが、大きな要因の一つです。松下電器の創設者である、松下幸之助さんは、「うまくいっ

たときは、おかげ様。失敗や、上手くい

なかつた時は、身から出たさび。」と諭（さと）されました。二度にわたる手術、入院闘病生活、発行の遅延（ちえん）も、全て、「身から出たさび」なのでありまして、猛省（もうしやう）することしきりであります。私は、その二度に渡る通算三十三日間の入院生活の中で、実感したことがあります。それは、昨年十二月発行の宮司プレス百八十一号に詳述（しょうじゆつ）しようじゆつ）させていただきましたが、「幸せ」は、三つあるということです。一つは、「してもらう幸せ」、もう一つは、「出来る幸せ」、さらに、「してあげる幸せ」の三つです。家族や職員さん、病院関係者の方々のおかげで、完治することができました。「してもらう幸せ」のなにもでもごさいません、感謝の気持ちでいっぱいです。さらに、「できる喜び」をかみしめながら、リハビリを続けました。前述（ぜんじゆつ）のとおり、今年一月十一日の六連島八幡宮歳旦祭には、正座で祭典を御奉仕することが叶い、「できる幸せ」で、満たされたのです。退院後は、恩返し、

「してあげる幸せ」の日々を送ることを誓い、励行（れいこう）を心がける日々であります。◇私たちは、自分にとつて都合の良いものは「よい出来事」、都合の悪いものは「悪い出来事」と、自分の秤（はかり）にかけて判断しがちです。「損か得か」という人間のものさしで判断してしまうのです。「産土百首（うぶすなひやくしゆ）」を著作（ちよさく）された本田親徳（ほんだ ちかあつ）という江戸時代の神道家（しんとうか）は、

「音に聞き 眼にみえるもの ことごとくに 産土神（うぶすながみ）の 御身（みみ）にこそあれ」と詠（よ）まれています。今、目の前に起こるすべての出来事は、神様のお力によるものだと、恐れ敬い、謙虚（けんこ）に受け止めて、向き合うことが大切なのではないでしょうか。人生で意味のない出来事は、一つとしてないのです。しかも、いい出来事は、日々の暮らしのエネルギーになりますし、悪い出来事は成長の糧（かて）となります。 「起きてくるものはすべてよし」と、「嘘か誠か」、「正義か邪悪（じやあく）か」という神様のものさしで、向き合えば、神社神道の信仰の柱である、「前向きに人生を楽しむ」というところにつながるような気がします。私が、二度の入院生活で、「三つの幸せ」を実感したように。御自愛を祈ります。

◇九、十月の祭典行事報告

▼月次祭 *九月一日、十五日

▼貴布禰神社月次祭 *九月一日

▼若宮神社例祭 *九月十日

▼朝粥会 *九月二十一日

▼貴布禰神社例祭 *九月二十三日

▼秋季祖霊祭 *九月二十三日

※家の宗旨が神道の方の合同の霊祭り

▼月次祭 *十月一日、十五日

▼貴布禰神社月次祭 *十月一日

▼六連島八幡宮例祭 *十月四日～五日

※戸別祓、前夜祭、湯立神事 *十月四日

※本殿祭、御神幸祭 *十月五日

▼舞子島八幡宮例祭 *十月十三日

※田の首八幡宮例齋

※前夜祭 *十月十五日

※本殿祭、御神幸祭 *十月十六日

▼朝粥会 *十月二十一日

▼秋季例大祭

※前夜祭 *十月二十一日

※本殿祭 *十月二十二日

※御神幸祭、無形民俗文化財サイ上り神事

*十月二十三日

◇九、十月の宮司動静報告

▼彦島八幡宮関係団体

◆早起会役員会 *九月三日

◆行事委員会 *十月三日

◆責任役員小熊坂氏葬儀参列

*十月九日～十日

◆行事委員会注連縄稲わら作業

*十月十四日

◆敬神婦人会除草作業

*十月十六日

◆サイ上り神事神役協議会獅子人(ししうど、とびんこ)練習会 *十月十九日

◆秋季例祭企画室会議奉仕者説明会

*十月十九日

◆維蘇志会臨時役員会 *十月二十三日

▼山口県神社庁関係

◆神職養成講習会「権正階」「神社神道概説

I」講義 ※一コマ五十分十六コマ

*九月一日～二日、九月四日、九月十日

◆阿萩支部神社総代会へ庁長代理出席、総

会後に講演

*九月七日

◆中国地区教化会議(岡山市にて開催)

*九月八日

◆山口県氏子青年連合会役員会

*九月十日

◆山口県神社庁教化代表者会議

*九月十二日

◆神職養成講習会成績判定会議

*九月十二日

◆全国教学研究大会(オンライン)

*九月十三日

◆下関市敬神婦人会茶話会

*九月十五日(当宮引受開催)

◆山口県神社庁教化委員会、神宮大麻増

頒布推進委員会、役員会

*九月二十一日

◆中堅神職研修会(丙)参加

*九月二十六日～三十日

※神宮道場にて開催

◆山口県神社関係者大会

*十月三日

◆赤間神宮大司権禰官葬儀参列

*十月三日

◆五社会 *十月十四日

◆山口県女子神職会四十周年記念式典

*十月十四日

◆役員会 *十月十九日

◆支部長事務局長会議、神宮大麻頒布始

祭、臨時協議員会 *十月二十日

▼教誨活動※美祢社会復帰促進センター

◆集合教誨男子

*九月十二日、十月三十一日

◆釈放前指導 *九月二十日

▼自治会、学校関係、その他

◆迫町自治会役員会 *九月十五日

◆関門いさなくらぶ *十月一日

◆しものせき木鶏クラブ *十月三日